

2019年度 大学院研究科共通 講義概要 (シラバス)



法政大学

科目一覧

最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

【X1501】	日本語論文作成 A I	[赤木 美香]	春学期授業/Spring	1
【X1502】	日本語論文作成 A II	[井波 真弓]	春学期授業/Spring	2
【X1503】	日本語論文作成 A III	[赤木 美香]	秋学期授業/Fall	3
【X1504】	日本語論文作成 A IV	[井波 真弓]	秋学期授業/Fall	4
【X1505】	日本語論文作成 B I	[赤木 美香]	春学期授業/Spring	5
【X1506】	日本語論文作成 B II	[井波 真弓]	春学期授業/Spring	6
【X1507】	日本語論文作成 B III	[赤木 美香]	秋学期授業/Fall	7
【X1508】	日本語論文作成 B IV	[井波 真弓]	秋学期授業/Fall	8

LANj500S1

日本語論文作成 A I

赤木 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2 単位

曜日・時限：水 1/Wed.1 | キャンパス：市ヶ谷

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは大学院で修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充することを目的とする。学期の前半では論文の構成要素に沿った課題論文作成と推敲練習を行い、学期の後半では、各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。このクラスは、すでに学部レベルのアカデミック・ライティングの基礎力を身につけている学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる

- ・論文に必要な構成要素や表現形式を理解し、それを踏まえて論文を作成することができる
- ・各自が間違いやすい文法や表現のリストを作成し、そのリストを用いて自分の文章の推敲をすることができるようになる。
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半は課題作文の作成と推敲練習を行い、後半では各自の研究テーマに沿った小論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	推敲練習 1	事実の分析・意義付けの欠けた文章 (400 字)
3	推敲練習 2	情報が適切に分類されていない文章 (400 字)
4	推敲練習 3	適切なラベルのない文章 (400 字)
5	推敲練習 4	論理の一貫性を考える 1 (400 字)
6	推敲練習 5	論理の一貫性を考える 2 (400 字)
7	中間テスト	中間テスト
8	各自の研究論文 1	序論 (1)
9	各自の研究論文 2	序論 (2)
10	各自の研究論文 3	本論 (1)
11	各自の研究論文 4	本論 (2)
12	各自の研究論文 5	結論 (1)
13	各自の研究論文 6	結論 (2)
14	発表・評価 (他者・教師)	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

論文の執筆

【テキスト（教科書）】

独自教材

【参考書】

村岡貴子・因京子・仁科喜久子 (2013) 『論文作成のための文章力向上プログラム：アカデミック・ライティングの核心をつかむ』 大阪大学出版会

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare writing argument essays and revision training. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 letters of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses. * There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 A II

井波 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2 単位

曜日・時限：土 1/Sat.1 | キャンパス：市ヶ谷

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは大学院で修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充することを目的とする。学期の前半では論文の構成要素に沿った課題論文作成と推敲練習を行い、学期の後半では、各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスには、すでに学部レベルのアカデミック・ライティングの基礎力をすでに身につけている学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- ・論文に必要な構成要素や表現形式を理解し、それを踏まえて論文を作成することができる
- ・各自が間違いやすい文法や表現のリストを作成し、そのリストを用いて自分の文章の推敲をすることができるようになる。
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半は課題作文の作成と推敲練習を行い、後半では各自の研究テーマに沿った小論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	推敲練習 1	事実の分析・意義付けの欠けた文章 (400 字)
3	推敲練習 2	情報が適切に分類されていない文章 (400 字)
4	推敲練習 3	適切なラベルのない文章 1(400 字)
5	推敲練習 4	論理の一貫性を考える 2 (400 字)
6	推敲練習 5	論理の一貫性を考える (400 字)
7	中間テスト	中間テスト
8	各自の研究論文 1	序論 (1)
9	各自の研究論文 2	序論 (2)
10	各自の研究論文 3	本論 (1)
11	各自の研究論文 4	本論 (2)
12	各自の研究論文 5	結論 (1)
13	各自の研究論文 6	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

論文の執筆

【テキスト（教科書）】

独自教材

【参考書】

村岡貴子・因京子・仁科喜久子 (2013) 『論文作成のための文章力向上プログラム：アカデミック・ライティングの核心をつかむ』 大阪大学出版会

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 words of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 A II

赤木 美香

開講時期：秋学期授業/Fall | 単位数：2 単位
 曜日・時限：水 1/Wed.1 | キャンパス：市ヶ谷
 備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは大学院で修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充することを目的とする。学期の前半では論文の構成要素に沿った課題論文作成と推敲練習を行い、学期の後半は、各自の研究テーマに沿った4000字程度の論文の作成を行う。このクラスには、すでに学部レベルのアカデミック・ライティングの基礎力をすでに身につけている学生を対象とする。
 *受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。
 *初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

授業コード
 Class code A8753
 年度
 Year 2019
 学部・研究科
 Faculty/Graduate school JLP
 科目名（英語）
 Class title
 添付ファイル名
 Attached documents
 開講時期
 Term Spring
 単位数
 Credit(s) 2
 曜日・時限
 Day/Period 水 1, Wed 1st
 キャンパス
 Campus 市ヶ谷 / Ichigaya
 備考
 Notes
 公開科目
 Open Program
 実務経験のある教員による授業科目

Class taught by instructors with practical experience

【授業の概要と目的（何を学ぶか） / Outline and objectives】

このクラスは大学院で修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充することを目的とする。学期の前半では論文の構成要素に沿った課題論文作成と推敲練習を行い、学期の後半では、各自の研究テーマに沿った4000字程度の論文の作成を行う。このクラスには、すでに学部レベルのアカデミック・ライティングの基礎力をすでに身につけている学生を対象とする。
 *受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、スコアを提出すること。
 *初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare writing argument essays and revision training. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 letters of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.
 * There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

【到達目標 / Goal】

学生は以下の力を高めることができる
 ・論文に必要な構成要素や表現形式を理解し、それを踏まえて論文を作成することができる
 ・各自が間違いやすい文法や表現のリストを作成し、そのリストを用いて自分の文章の推敲をすることができるようになる
 ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
 ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半は課題作文の作成と推敲練習を行い、後半では各自の研究テーマに沿った小論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	推敲練習 1	事実の分析・意義付けの欠けた文章 (400 字)
3	推敲練習 2	情報が適切に分類されていない文章 (400 字)
4	推敲練習 3	適切なラベルのない文章 (400 字)
5	推敲練習 4	論理の一貫性を考える 1 (400 字)
6	推敲練習 5	論理の一貫性を考える 2 (400 字)
7	中間テスト	中間テスト
8	各自の研究論文 1	序論 (1)
9	各自の研究論文 2	序論 (2)
10	各自の研究論文 3	本論 (1)
11	各自の研究論文 4	本論 (2)
12	各自の研究論文 5	結論 (1)
13	各自の研究論文 6	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

論文の執筆

【テキスト（教科書）】

独自教材

【参考書】

村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム：アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版会

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %
 各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %
 平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare writing argument essays and revision training. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 letters of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.
 * There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 A IV

井波 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 単位数：2 単位
曜日・時限：土 1/Sat.1 | キャンパス：市ヶ谷
備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは大学院で修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を拡充することを目的とする。学期の前半では論文の構成要素に沿った課題論文作成と推敲練習を行い、学期の後半では、各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスには、すでに学部レベルのアカデミック・ライティングの基礎力をすでに身につけている学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- 論文に必要な構成要素や表現形式を理解し、それを踏まえて論文を作成することができる
- 各自が間違いやすい文法や表現のリストを作成し、そのリストを用いて自分の文章の推敲をすることができるようになる。
- 各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- 作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半は課題作文の作成と推敲練習を行い、後半では各自の研究テーマに沿った小論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	推敲練習 1	事実の分析・意義付けの欠けた文章 (400 字)
3	推敲練習 2	情報が適切に分類されていない文章 (400 字)
4	推敲練習 3	適切なラベルのない文章 (400 字)
5	推敲練習 4	論理の一貫性を考える 1 (400 字)
6	推敲練習 5	論理の一貫性を考える 2 (400 字)
7	中間テスト	中間テスト
8	各自の研究論文 1	序論 (1)
9	各自の研究論文 2	序論 (2)
10	各自の研究論文 3	本論 (1)
11	各自の研究論文 4	本論 (2)
12	各自の研究論文 5	結論 (1)
13	各自の研究論文 6	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

論文の執筆

【テキスト（教科書）】

独自教材

【参考書】

村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム：アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版会

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 words of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 B I

赤木 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2 単位
 曜日・時限：水 2/Wed.2 | キャンパス：市ヶ谷
 備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語力を拡充することを目的とする。学期の前半では専門的な文章の要約練習、そして各自の研究テーマに関連した先行研究のレビューを作成する。そして、学期後半では各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスは、学部レベルのアカデミック・ライティング力がすでに十分に身につけており、修士論文を執筆するためのより高度な論文作成力を身につけることを目指している学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- ・専門的な文章の要約力を高める
- ・各自の研究テーマに沿った先行文献のレビューを書く力を高める
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半では専門的な文章の要約練習を行い、学期の後半では各自の研究テーマに沿った論文を作成する。

Google classroom を利用

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	専門書の要約 1	オリエンテーション 専門書の検討
3	専門書の要約 2	専門書の要約とレビュー (1000 字) (1)
4	専門書の要約 3	専門書の要約とレビュー (1000 字) (2)
5	専門書の要約 4	専門書の要約とレビュー (1000 字) (3)
6	専門書の要約 5	専門書の要約とレビュー (1000 字) (4)
7	各自の研究論文 1	序論 (1)
8	各自の研究論文 2	序論 (2)
9	各自の研究論文 3	本論 (1)
10	各自の研究論文 4	本論 (2)
11	各自の研究論文 5	本論 (3)
12	各自の研究論文 6	結論 (1)
13	各自の研究論文 7	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文献の収集と要約

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

鎌田美千子・仁科浩美 (2014) 『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ

演習』スリーエスネットワーク

井下千似子 (2014) 『思考を鍛えるレポート・論文作成法』[第2版]

慶応義塾大学出版

二通信子・大島弥生・因京子・佐藤勢紀子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人

学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

村岡貴子・因京子・仁科喜久子 (2013) 『論文作成のための文章力向上プログラム』

アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）： 40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）： 50 %

平常点： 10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 letters of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 B II

井波 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2 単位

曜日・時限：土 2/Sat.2 | キャンパス：市ヶ谷

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語力を拡充することを目的とする。学期の前半では専門的な文章の要約練習、そして各自の研究テーマに関連した先行研究のレビューを作成する。そして、学期後半では各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスは、学部レベルのアカデミック・ライティング力がすでに十分に身につけており、修士論文を執筆するためのより高度な論文作成力を身につけることを目指している学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- ・専門的な文章の要約力を高める
- ・各自の研究テーマに沿った先行文献のレビューを書く力を高める
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半では専門的な文章の要約練習を行い、学期の後半では各自の研究テーマに沿った論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	専門書の要約 1	オリエンテーション 専門書の検討
3	専門書の要約 2	専門書の要約とレビュー（1000 字） (1)
4	専門書の要約 3	専門書の要約とレビュー（1000 字） (2)
5	専門書の要約 4	専門書の要約とレビュー（1000 字） (3)
6	専門書の要約 5	専門書の要約とレビュー（1000 字） (4)
7	各自の研究論文 1	序論 (1)
8	各自の研究論文 2	序論 (2)
9	各自の研究論文 3	本論 (1)
10	各自の研究論文 4	本論 (2)
11	各自の研究論文 5	本論 (3)
12	各自の研究論文 6	結論 (1)
13	各自の研究論文 7	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）振り返り・内省	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文献の収集と要約

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

鎌田美千子・仁科浩美（2014）『アカデミック・ライティングのためのパラフレース

演習』スリーエスネットワーク

井下千似子（2014）『思考を鍛えるレポート・論文作成法』[第2版]

慶応義塾大学出版

二通信子・大島弥生・因京子・佐藤勢紀子・山本富美子（2009）『留学生と日本人

学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム：

アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 words of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 B II

赤木 美香

開講時期：秋学期授業/Fall | 単位数：2 単位
 曜日・時限：水 2/Wed.2 | キャンパス：市ヶ谷
 備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語力を拡充することを目的とする。学期の前半では専門的な文章の要約練習、そして各自の研究テーマに関連した先行研究のレビューを作成する。そして、学期後半では各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスは、学部レベルのアカデミック・ライティング力がすでに十分に身につけており、修士論文を執筆するためのより高度な論文作成力を身につけることを目指している学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- ・専門的な文章の要約力を高める
- ・各自の研究テーマに沿った先行文献のレビューを書く力を高める
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半では専門的な文章の要約練習を行い、学期の後半では各自の研究テーマに沿った論文を作成する。

Google classroom を利用

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	専門書の要約 1	オリエンテーション 専門書の検討
3	専門書の要約 2	専門書の要約とレビュー（1000 字） (1)
4	専門書の要約 3	専門書の要約とレビュー（1000 字） (2)
5	専門書の要約 4	専門書の要約とレビュー（1000 字） (3)
6	専門書の要約 5	専門書の要約とレビュー（1000 字） (4)
7	各自の研究論文 1	序論 (1)
8	各自の研究論文 2	序論 (2)
9	各自の研究論文 3	本論 (1)
10	各自の研究論文 4	本論 (2)
11	各自の研究論文 5	本論 (3)
12	各自の研究論文 6	結論 (1)
13	各自の研究論文 7	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）	振り返り・内省

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文献の収集と要約

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

鎌田美千子・仁科浩美（2014）『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ

演習』スリーエスネットワーク

井下千似子（2014）『思考を鍛えるレポート・論文作成法』[第2版]

慶応義塾大学出版

二通信子・大島弥生・因京子・佐藤勢紀子・山本富美子（2009）『留学生と日本人

学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム』

アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 letters of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.

LANj500S1

日本語論文作成 B IV

井波 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 単位数：2 単位
曜日・時限：土 2/Sat.2 | キャンパス：市ヶ谷
備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは修士論文を執筆するために必要なアカデミックな日本語力を拡充することを目的とする。学期の前半では専門的な文章の要約練習、そして各自の研究テーマに関連した先行研究のレビューを作成する。そして、学期後半では各自の研究テーマに沿った 4000 字程度の論文の作成を行う。

このクラスは、学部レベルのアカデミック・ライティング力がすでに十分に身につけており、修士論文を執筆するためのより高度な論文作成力を身につけることを目指している学生を対象とする。

*受講希望者は事前に J-CAT テストを受験し、初回の授業でスコアを提出すること。

*初回の授業でレベルチェックと面談があります。受講希望の学生は初回の授業に必ず出席すること。

【到達目標】

学生は以下の力を高めることができる。

- ・専門的な文章の要約力を高める
- ・各自の研究テーマに沿った先行文献のレビューを書く力を高める
- ・各自の修士論文のテーマについて 4000 字程度の論文をアカデミックな論文に従って書くことができるようになる
- ・作成した文章を学生自身が吟味し、問題点を自分で修正する力を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

学期の前半では専門的な文章の要約練習を行い、学期の後半では各自の研究テーマに沿った論文を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	専門書の要約 1	オリエンテーション 専門書の検討
3	専門書の要約 2	専門書の要約とレビュー（1000 字） (1)
4	専門書の要約 3	専門書の要約とレビュー（1000 字） (2)
5	専門書の要約 4	専門書の要約とレビュー（1000 字） (3)
6	専門書の要約 5	専門書の要約とレビュー（1000 字） (4)
7	各自の研究論文 1	序論 (1)
8	各自の研究論文 2	序論 (2)
9	各自の研究論文 3	本論 (1)
10	各自の研究論文 4	本論 (2)
11	各自の研究論文 5	本論 (3)
12	各自の研究論文 6	結論 (1)
13	各自の研究論文 7	結論 (2)
14	発表・評価（他者・教師）振り返り・内省	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文献の収集と要約

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

鎌田美千子・仁科浩美（2014）『アカデミック・ライティングのためのパラフレース

演習』スリーエスネットワーク

井下千似子（2014）『思考を鍛えるレポート・論文作成法』[第2版]

慶応義塾大学出版

二通信子・大島弥生・因京子・佐藤勢紀子・山本富美子（2009）『留学生と日本人

学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

村岡貴子・因京子・仁科喜久子（2013）『論文作成のための文章力向上プログラム：

アカデミック・ライティングの核心をつかむ』大阪大学出版

【成績評価の方法と基準】

専門書の要約（各回の提出物の内容の充実度）：40 %

各自の研究論文（各回の提出物の内容の充実度）：50 %

平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. In the first half of the semester, we prepare a summary practice of professional sentences and a review of prior research related to each research theme. In the latter half of the semester, we will prepare about 4000 words of paper according to their research topics.

This class requires the students who are already well acquainted with academic writing skills at the undergraduate level and are aiming to acquire more advanced paper preparation skills to write master's theses.

* There are a level check and an interview at the first lesson. Students wishing to register to this class must attend the first lesson.



法政大学
HOSEI University